

CENTER NEWS

2013.9



KG&ERc

No.325



目 次

アベノミクスとソーシャル・キャピタル 谷垣 勝久	1
7月 定例理事会	2
技術者紹介コーナー（第114回）西川 友章	3
【シリーズ：表彰論文②】浅井 功	中小企業人材確保推進事業コーナー
橋梁基礎の洗掘点検調査の安全作業計画例	5
中小企業の人材確保・育成 10カ条	人材開発シリーズ
第48回地盤工学研究発表会及びジオ・ラボネットワークブース展示	11
行事・講習会・資格試験等のご案内	12
最新の圧密試験機を導入しました	13
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話	14
編集後記	15

表紙説明

写真上部：首里城正殿

沖縄県那覇市首里に位置し、築城は13世紀末から14世紀頃と推定されている。首里城は何度か火災により焼失し、現在の姿は1715～1945年までの建築を基とし、再建されたものである。

写真下部：首里城内から沖縄市街を臨む

首里城内より沖縄市街を一望できる。

(小山 記)



アベノミクスとソーシャル・キャピタル

株式会社 タニガキ建工

谷垣 勝久

3年3か月にわたる民主党政権が崩壊して、自民党の安倍晋三総裁を首相とする、第2次安倍内閣が発足すると、新聞やテレビをはじめとする多くのメディアは、「アベノミクス」という言葉を多用するようになった。「アベノミクス」とは、安倍首相とエコノミクスを合わせた造語で、安倍首相が表明した”3本の矢”などを柱とする経済政策のことである。

”3本の矢”は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を差すが、安倍首相はFacebook 首相官邸 今年5月5日の投稿で、「国民みんなが夢を持つこと。そしてみんなが夢の実現に向けて頑張ること。これが私の“4本目の矢”。」と述べている。

私もこれに同感であり、我が意を得たりと思うが、そこで「ソーシャル・キャピタル」の概念が必要となる。「ソーシャル・キャピタル」の概念とは、「人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる。“信頼”“規範”“ネットワーク”といった社会組織の特徴」であると政治学者のロバート・パットナムは言う。また、経済協力開発機構（OECD）は、この概念を「グループ内またはグループ間での協力を容易にする共通の規範や価値観、理解を伴ったネットワーク」と定義している。

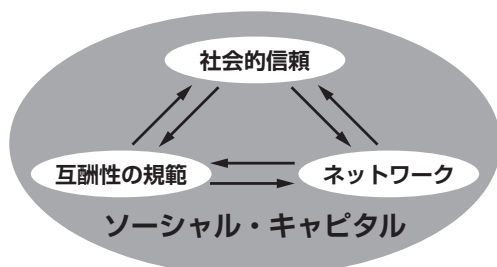
つまり、ソーシャル・キャピタルが豊かな地域は、政治的コミットメントの拡大、子供の教育成果の向上や、近隣の治安の向上、地域経済の発展、地域住民の健康状態の向上など、経済面・社会面において好ましい効果をもたらしていると考えられる。

私はこの概念をテレビ番組を通じて知ったが、非常に興味深い概念であると思う。前述の安倍首相の言葉を、私なりに解釈すれば、「国民みんながそれぞれ夢を持つこと。そして夢の実現に向けてグループ内のネットワークを通じて協力し、共通の規範や価値観、理解、信頼関係をもとに一緒に頑張ること。」これが私の“4本目の矢”となる。

我々の関西地盤環境研究センターは、共通の規範や価値観、理解を伴ったネットワークで

あり、このセンターのネットワークを十二分に活用し、協会員相互の協調行動を活発にすることがそれぞれの会社の夢の実現に繋がるのではないだろうか。

「ソーシャル・キャピタル」の概念が、今後業界や地域社会、「アベノミクス」において益々重要になっていくと考える。



ソーシャル・キャピタルの概念イメージ
https://www.npo-homepage.go.jp/pdf/report_h14_sc/2.pdf

平成 25 年 7 月 30 日 (火)15 時 00 分より、ラマダホテル大阪会議室において、理事 10 名が出席して開催した。

定款の定めにより、高村理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

1) 一般経過報告

6 月の会議・会合・行事について報告した。

2) 6 月分事業報告の件

①試験実施状況報告

試験依頼件数は 211 件で、受注金額は 23,054 千円となり、請求金額は 17,043 千円であった。次月に繰越す未試験金額は 48,621 千円となっている。

②収支実績報告

6 月の入金額は 23,475 千円であり、配当金の支払い、借入元利金の返済等を行った。

3) 平成 25 年度第 1 四半期実績報告の件

4) 組合職員人事の件

5) 平成 25 年度ジオ・ラボネットワーク技術者交流会開催予定の件

6) 平成 25 年度インターンシップ受入れ状況報告の件

7) その他の件

①税務調査の件

【審議事項】

1) 中期経営計画アンケートまとめの件

2) その他の件

①小委員会の件



所 属：国際航業株式会社

氏 名：西川 友章

出 身 地：大阪府岸和田市

生年月日：1973年 3 月 8 日

【自己紹介】

国際航業の西川友章と申します。株式会社ダイヤコンサルタントの稀代のエース鏡原さんよりご紹介を頂きまして、大変光栄に感じているところであります。今回はどうぞよろしく願いいたします。

私の自己紹介は、冒頭の写真をご覧頂ければ、敢えて説明の必要がないと思います。阪神タイガースが日本一になるために日々努力している、そのような男です。

【鳥取の思い出】

7月中旬に、大学時代の同級生の結婚式に招待されました。彼は共にワンダーフォーゲル部に所属し、山に登りまくっていた仲間です。鳥取大学だったこともあり、鳥取の大山はホームグラウンドでして、毎年10回近くは登っていました。私が大学生だった頃、大山（弥山）の標高は1711mでしたが、2000年に発生した鳥取県西部地震により山体の崩壊が進み、今では1709mと紹介されています。披露宴の余興で、ワンダーフォーゲル部の同級生全員で部歌「大山賛歌」を大声で歌い、久しぶりに大山に登りたくなってきている気持ちの高ぶりを、心地よく感じています。これが最近の私の心境であります。自己紹介の写真は、数年前に登頂した富士山のものですが、私にとっての一番は、やはり大山です。

【私の好きな大山】

せっかくなので、私の大山のお薦めスポットを紹介しておきましょう。あまり人が踏み入れないマイナーな場所ばかりです。

北壁：ユートピア小屋を目指して宝珠尾根を登る途中の「上宝珠越」辺りは、天に聳える荒々しい岩壁がまさに迫ってくるようで、最も迫力を感じながら、その北壁の美しさに全身が包まれる場所です。

南 壁：大山環状道路を一ノ沢、二ノ沢、三ノ沢と進んだ所に「文殊堂」があります。そこから南へ向かって15分ほど登ると「笛吹山」山頂に着きます。南壁の真正面であり、尚且つ周りには誰もおらず、その美しさを独り占めできる、「南壁を見るならここ。」と言える最高の場所です。

天然ブナ林：5月の連休頃、新緑の瑞々しくて柔らかい黄緑は、本当にキラキラと輝いて見えます。秋の紅葉の季節も綺麗だと言われていますが、私は春先の季節を選びます。大休峠から川床へ下る途中と、鳥越峠から文殊堂へ下る途中のブナ林が、私は大好きです。

大山の水：「奥大山の水」という天然水が市販されていますが、それ以上に美味しい水を飲むことができます。ユートピア小屋から駒鳥小屋を目指す途中の「振子沢」の水です。ミネラル豊富な自然の甘さが感じられる水でして、この水でご飯を炊くために、わざわざポリタンクで汲んで家まで持ち帰ったこともあります。これまで飲んだ水の中で、最も美味しかった水です。大山山域でも、ここだけが特別に美味しいです。

【会社では】

平日の昼間（夜間も）は国際航業株式会社の砂防グループに所属し、砂防全般に関する仕事に励んでいます。特に平成13年に施行された土砂災害防止法に関する基礎調査を中心に、最近頻発する土砂災害対策に取り組んでいます。ですので、ある種の職業病と表現すればよいのでしょうか。テレビやラジオで台風の接近や大雨に関する情報を見聞する度に、何とも言えない嫌な感覚が全身を通り抜けます。正月の初詣では、家族の健康と阪神タイガース優勝、そして世界平和をお祈りしていますが、もちろん土砂災害の無い平和という意味です。

橋梁基礎の洗掘点検調査の安全作業計画例

サンコーコンサルタント株式会社 浅井 功

1. はじめに

橋梁基礎の洗掘点検は、橋梁基礎の洗掘状況を把握する目的で実施し、毎年点検される結果をもとに、洗掘の経年変化を把握し橋梁基礎の安定性を評価する資料とするものである。点検時には河川流水の中、徒歩やボートにて橋脚に近づく必要があることから、水難事故の危険を伴う。今回は京都国道事務所の防災点検業務にて実施した一級河川内の国道橋梁基礎洗掘点検時の安全作業計画について報告する。

2. 点検概要

点検は既存カルテに記載されている着目点の変化を監視するもので橋台、橋脚の変状や河道の変化を目視点検すると共に、橋脚・橋台周辺の点検ポイントの河床深さ（各橋脚・橋台に設けられている基準からの深さ）をスタッフまた錘測（レッド）により簡易計測を実施する。

図1に橋脚周辺の簡易計測ポイントの例を示す（赤○が計測ポイント）。



図1 橋脚周辺の簡易計測ポイントの例

写真-1 に徒歩による点検、写真-2 にボート利用による点検作業写真を示す



写真-1 徒歩による点検



写真-2 ボート利用による点検

3. 安全作業計画

(1) 作業フロー

現地点検作業は、対象点検箇所への河川水位により、水深 1.0m 未満と 1.0m 以上を基準に、水深 1.0m 以上（1.0m 未満でも流速が速く水中歩行が困難な場合も含む）の場合は、ボートを使用し点検を実施した。水深 1.0m 未満で安全に水中歩行が可能な場合は、洞長靴、ドライスーツを着用し、徒歩にて点検を実施した。

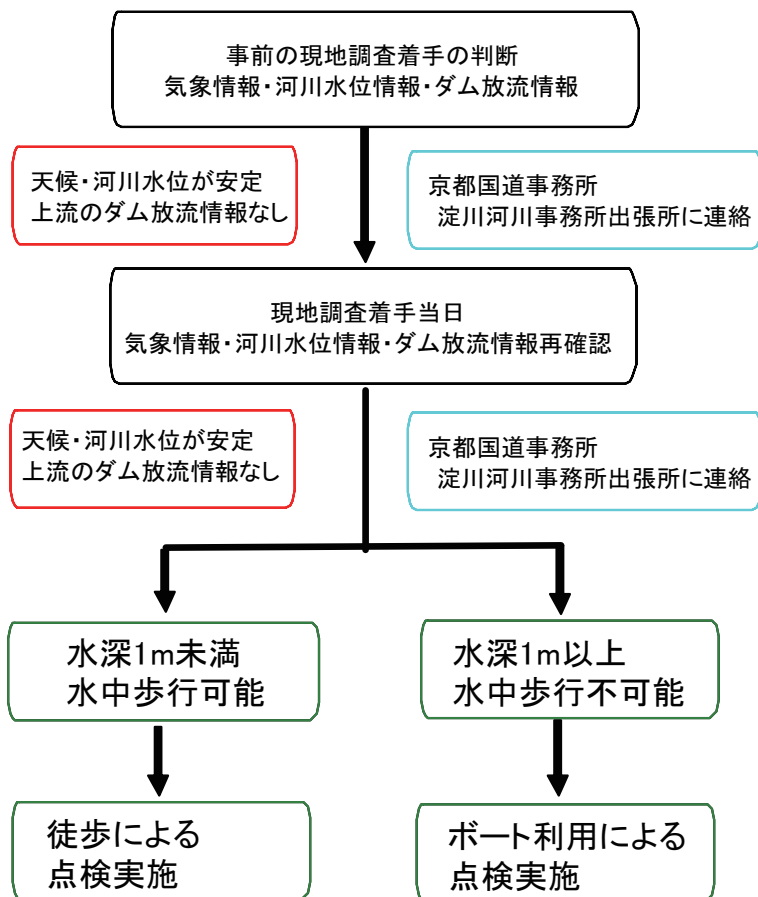


図2 作業フロー

(2) 水深に応じた点検方法（装備）の目安

図3に洪水時の流速・水深による歩行避難の困難さの目安を示す。

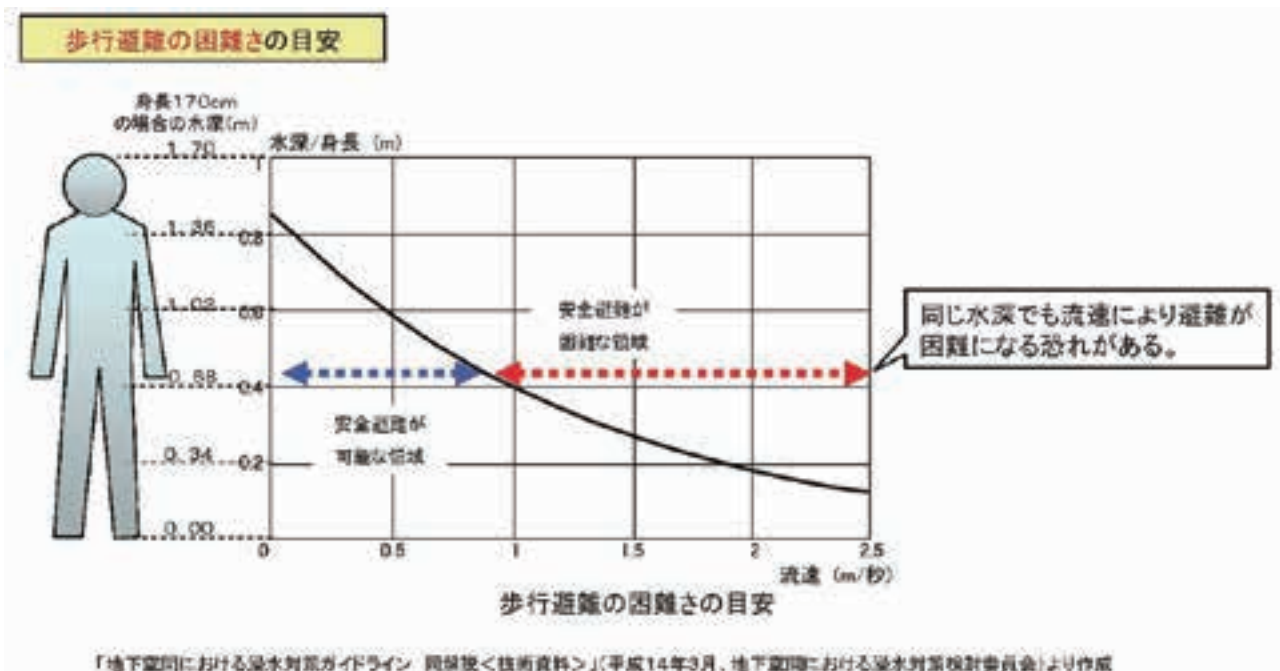


図3 洪水時の流速・水深による歩行避難の困難さの目安

(九州地方整備局 第2回ダムによらない治水を検討する場 説明資料 H21.3より抜粋)

洪水の程度(浸水深と流速)と避難との関係について水中歩行実験した結果、以下のような水中歩行の目安がある。(四国地方整備局徳島河川国道事務所第18回吉野川講座より) <成年男子の場合>

- 水深が膝程度(40~50 cm位) --- 流速がある程度あっても、安定して歩ける。
- 水深が股下程度(80 cm位) --- 歩きづらくなる。
- 水深が腰高程度(100 cm位) --- 歩くのが非常に困難になり、恐怖感を覚える。

また表1に流速の目安を示す。

表1 流速の目安 ((財)河川環境管理財団 HP より)

河川の部分	流速	流速の目安
○ 丘陵~山地の河川	0.6~	子どもの歩行速度
○ 落差が少ない断面の大きい河川	1.2m/sec	
○ 山地渓流	1.2~	大人の歩行速度~ジョギング
○ 大きい河川の中流	2.0m/sec	
○ 洪水時の山地流	2.0~	自転車の速さ
○ 洪水時の大河川	3.0m/sec	
○ 滝	3.0m/sec	自動車の速さ
○ 大洪水時の河川	以上	

以上のことを参考に、河川流水中の点検手法（装備）を以下のように計画した。

- | | |
|---|------------|
| 1) 水深が膝程度（水深 50cm 位まで） | 洞長靴による水中歩行 |
| 2) <u>流速が穏やか</u> で、水流の抵抗をあまり感じなく、歩きやすい場合で、水深が股下程度（水深 70～80cm 位まで） | 洞長靴による水中歩行 |
| 3) <u>流速があり</u> 、水流の抵抗を感じ歩きづらく、水深が膝上（水深 50～60cm 以上） | ドライスーツ着用 |
| 4) 水深が腰程度より上（水深 80～100cm まで） | ドライスーツ着用 |
| 5) 水深 100cm 以上 | ボート利用による点検 |

今回、点検が冬期であった為、ドライスーツを使用した。

・危険のポイント

- ①洞長靴は、水中にて転倒し、水が洞長靴内に入った場合、身動きが困難になり溺れることもある。
- ②河川の流水が早い箇所でのボートは操船が困難（計測時は短時間の静止が必要）になる（状況によっては転覆の恐れ）ことから、岸や浅瀬からロープによる補助が必要。なお、操船者は熟練者に越したことはない。

・ボート点検の必要人員は右のとおり

人員配置計画

ボート操船者	1名
測定者	1名
写真撮影者	1名
補助作業員	1～2名
計	4～5名

4. おわりに

・点検作業着手時の対応と反省

徒歩による点検、ボート利用による点検は、過年度の点検結果及び事前現地目視確認により、事前計画を行ったが、当日の現地確認状況により、水深が計画より深い、または流速が速く、危険と判断された場合は、徒歩による点検作業は、ボートによる点検に変更するか、無理に作業は行わないようにした。

一見、水深が浅く、洞長靴で作業可能と判断されても、河川内に入ってみると構造物周辺には部分的に深く洗掘されていることもあり、流水も比較的速く、危険を感じた箇所もあったので、常にドライスーツは準備しておくべきである。

以 上

中小企業の人材確保・育成10カ条

～企業成長の源泉は人材にあり～

閉塞感が蔓延していた我われの業界にも、やや薄日が差してきたようです。それと同時に人材不足が顕在化してきました。人材は一朝一夕に育つものではありません。常日頃からその条件を意識しておくことが大切です。今回は、東京商工会議所の資料から『中小企業の人材確保・育成10カ条 ～企業成長の源泉は人材にあり～』を紹介します。

これは、構成する中小企業へのアンケートおよびヒアリング調査を基にまとめられたもので、回答している企業が製造業や小売業に偏っており、我われの業界には直接的に役に立つ形になっていない項目も見受けられます。しかし、冊子の実際の書面には、実践企業の事例など具体的な提言や事例が数多くまとめられています。人材確保・育成に興味ある方は、本文を含めてぜひ参考にしてみてはいかがでしょうか。

また、センターとしても、人材確保・育成に関する事項を、支援サービス事業の重要な課題として取り組み、関連行事等を積極的に展開したいと計画しています。ご意見やご希望とともに多くの参加を期待しています。

(佐藤和志)

1 働くことが楽しくなるような事業分野で勝負

- ・ 大企業が競争力を発揮しにくい分野で事業展開をする。規模の勝負を避ける。
- ・ 中小企業ならではの事業分野を見つけることが従業員の働きがいにつながる。
- ・ 消費者や最終ユーザーから必要とされていると実感できるような職場を作る。

2 明確な方針をわかりやすく伝えよ

- ・ 人材の採用や育成方針に関して明確な方針を持ち、一度決めたら頻繁に変えない。
- ・ 理念や方針そのものに独自性を出すことは難しい。大切なことは、それらの見せ方やわかりやすさ、そして具体性である。
- ・ 毎日の仕事の中で企業全体に浸透させていく。

3 トップが先頭に立って必死で育てる

- ・ トップと一般従業員との距離が短いことが中小企業の特徴である。この特徴を長所として活かす。
- ・ トップの考えや行動を前面に押し出す。遠慮は無用である。
- ・ 方針や方向が対立した時は、二兎を追わずに一兎を追う。責任はトップが負えばよい。

4 採用ミスは致命傷

- ・ 社長の考え方や企業の文化に合わない人を無理に採用しない。無理に採用したことによる損失は募集や採用コストよりもはるかに大きい。
- ・ 良いことだけを見せない。マイナス面を理解して入社した従業員が戦力になる。
- ・ 独自の評価基準を持つ。多様な事業分野の中小企業は求める人材も多様である。

5 人が育てば企業も育つ

- ・ 企業の成長は従業員の成長についてくる。まず、従業員に学びの機会を与える。
- ・ 無理かもしれないことを思い切って任せる。小さな成功体験が大きな飛躍につながる。
- ・ 学びの機会を仕事に組み込む。新規事業への挑戦や従業員主催の勉強会は、人が育つ機会となる。

6 部下の育成は仕事の一部

- ・ 人材育成を社長や役員だけの仕事にしないで、全社的に取り組む。
- ・ 中間管理職以上には人材育成に責任を持たせる。
- ・ 従業員は通常業務だけで十分に忙しい。策を講じなければ、部下を育成するための時間と労力を見つけようとはしない。

7 制度や仕組みだけでは動かない

- ・ 従業員数が20人規模になった段階で、昇給や昇任のための仕組みや制度を整備する。
- ・ しかしながら、中小企業は仕組みや制度だけでは動かない。大企業以上に従業員の納得感が求められる。
- ・ 日常的なコミュニケーションや企業文化を踏まえて仕組みや制度を運用することが重要である。

8 中小企業らしさに誇りを持つ

- ・ 社長の個性や考え方を前面に出す。相性が合わないことを恐れず、合った時の強さを活かす。
- ・ 家族的な雰囲気は中小企業らしさの要である。中小企業らしさを求めて入社した従業員の期待を裏切らない。
- ・ 運動会、花見、そして社員旅行ができることが素晴らしい。やりたくてもできない企業が多いのが現実である。

9 真似ずに学べ

- ・ 中小企業は数が多く、しかも多様な事業分野で活躍している。有効な人材育成の方法は大企業以上に多様であり、一社ごとに異なると言っても過言ではない。
- ・ ある企業の成功事例をそのまま真似しない。企業風土や文化の違う企業が真似をしようとすると失敗する。
- ・ 他者の事例を知ることの最大の効果は、ヒントや気づきを得ることである。実際に何をするのかは社長が決める。

10 経営者は教育者

- ・ 人材に不満があるとすれば、それは人材に恵まれていないのではなく、人材を育てられないからである。
- ・ 人材を育てるには時間も労力もかかる。しかも、すぐに効果は出ない。
- ・ 教えることが好きであるか、そして従業員の成長を自分のことのように喜ぶことができるか。できないからと言って簡単に切り捨てたりしないという教育者らしさが求められる。

第48回地盤工学研究発表会及び ジオ・ラボネットワークブース展示

センター長 中山 義久

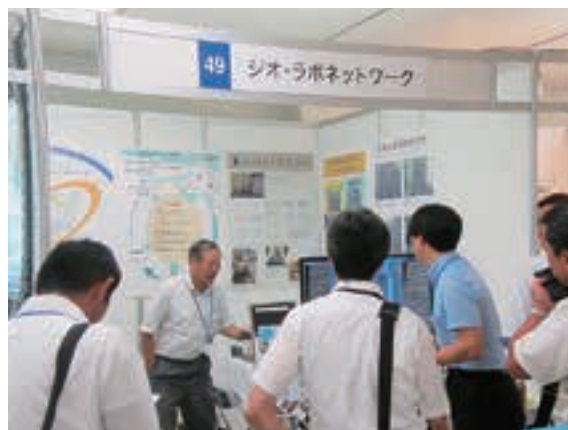
7月23日～25日に地盤工学会主催による「第48回 地盤工学研究発表会」が富山国際会議場と富山県民ホール、他1会場において開催された。当センターからは、澤 孝平顧問と中山が技能試験に関わる研究成果を、松川地盤技術室長が文化的に価値のある地盤構造物の劣化に関する研究成果の発表を行いました。

また、この研究発表会と同時開催された技術展示において、全国協同組合で組織するジオ・ラボネットワークとしてブース展示をおこないました。展示の目的は、“ジオ・ラボネットワークのことを地盤調査業界だけでなく、より多くの分野の方々に知ってもらうためです”。協同展示は初めてのため合同ワーキンググループを立ち上げ、展示内容の検討・制作を行いました。全国の協同組合職員が、顔を合わせたことで、日頃の試験業務の情報交換だけでなく、ジオ・ラボネットワークの将来についても、考えるきっかけとすることができました。その甲斐あって、展示ブースには約150名を超える方々に訪問を頂き、我々の目的が達成されたと思っています。

次回は9月19日～20日に開催予定の全地連技術フォーラム（長野）において、ブース展示を行う予定です。機会があれば、ぜひお立ち寄りください。



研究発表会・技術展示会会場



盛況のブース展示



特別講演会の様子



会場前でボーリング調査？

行事・講習会・資格試験等のご案内

(平成 25 年 8 月 30 日現在)

主催	開催日 開催地	名称	募集内容	申込締切
関西地質調査業協会 http://www2.ocn.ne.jp/~kstisitu/	10 月 4 日 大阪	道路防災点検技術講習会	講習会	申込締切
	11 月 11 日 大阪	平成 25 年度 地質調査技士登録更新		9 月 10 日～ 10 月 15 日 ※ CPD 更新は 12 月 16 日まで
地盤環境技術研究センター http://getrec.net/index.php?FrontPage	10 月 11 日 11 月 18 日 東京	土壌汚染調査技術管理者試験対 応事前講習会	講習会	募集中
地質リスク学会 http://www.georisk.jp/	11 月 22 日 東京	第 4 回地質リスクマネジメント 事例研究発表会	論文募集	9 月 30 日
地盤工学会関西支部 http://www.jgskb.jp/	9 月 13 日	地盤調査の方法と解説講習会	講習会	申込締切
	11 月 8 日 大阪市立大学	Kansai Geo-Symposium 2013 - 地下水地盤環境・防災・計測 技術に関するシンポジウム -	論文募集	募集終了
	2 月 14 日 建設交流館	平成 25 年度施工技術報告会	講演募集	10 月 9 日
地盤工学会 https://www.jiban.or.jp/	9 月 11 日～ 13 日 東京	わかって使う FEM 講習会	講習会	
	9 月 20 日～ 21 日 東京	地盤・耐震工学入門講習会	講習会	
	10 月 28 日 建設交流館	近年の「想定外」豪雨による 災害について考えるシンポジウム	講演会	受付中
	11 月 22 日 東京	第 58 回地盤工学シンポジウム	論文募集	募集終了
土木学会関西支部 http://www.civilnet.or.jp/	9 月 17 日 大阪市立大学 文化交流センター・ホール	地盤情報を活用した 防災ハザードマップの講習会	講習会	
日本地質学会 http://www.jseg.or.jp/	9 月 14 日～ 16 日 仙台	日本地質学会第 120 年学術大会 トピックセッション	論文	募集終了
日本技術士会 http://www.engineer.or.jp/	10 月 14 日	技術士第一次試験	受験	申込締切
建設コンサルタンツ協会近畿支部 http://www.kk.jcca.or.jp/	9 月 12 日 大阪科学技術センター	第 46 回 研究発表会	発表会	
	11 月 10 日	RCCM 資格試験	受験	募集終了
(株)日刊建設工業新聞社 / (一社) 近畿建設協会	10 月 30 日～ 31 日 マイドーム大阪	建設技術展 2013 近畿	技術展	出展締切

※内容の詳細については、主催団体のホームページ等でご確認願います。

最新の圧密試験機を導入しました

センター長 中山 義久

現行の圧密試験機は、導入以来ほぼ30年余りを経過しており、その間全自動化への改造や修理を経て活躍してきました。これらの試験機の载荷方法はシンプルな構造のレバー式です。当時の試験機はどれも丈夫に出来ておりましたが、やはり老朽化が避けることができません。

その対応として、現在稼働している全40連の内、手動载荷式10連を廃棄し、新に10連式自動圧密試験機を導入しました。前年度の液状化試験機に続く設備投資となります。この試験機は空圧载荷方式で、写真のとおり非常にコンパクトに仕上がっており、ひと昔前の空圧式試験機に比べ、空気圧制御技術の向上によりレバー式と全く遜色ないレベルに達しています。

今後その他試験機についても計画的に最新試験機への移行を進め、皆様方に高品質な試験成果を迅速に提供できるよう努力してまいります。

ますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

空圧式全自動圧密試験装置 (KS-20220) 10 連

- ・メーカー：テスコ株式会社
- ・圧密荷重：10～5120 (kN/m²)
50 段階までの任意荷重が可能



こんな時代だから、 ちょっと心に残る良い話

今回のいい話の内容は、失敗についてです。
お暇なときに一読してみてください。

(稲田 記)

「成功の反対は、失敗ではなく、何もしないことだ」

なでしこジャパン監督 佐々木則夫

はじめてのことにチャレンジするとき、人は失敗するものです。

難しいことにチャレンジするとき、何度か失敗を繰り返すものです。

そんな経験が誰にでもあるのではないのでしょうか。

ずいぶん前ですが、アメリカで次のような企業広告が出され、大反響を呼びました。

「君は、これまでなんども失敗した。おぼえてはいないかもしれないが。

はじめて歩こうとしたあの時、君は転んでしまった。

はじめて泳ごうとしたあの時、君は溺れそうになってしまった。

そうじゃなかったかい？

デパートの創業者は7回失敗し、8回目で成功した。

564冊の本を出版したイギリスの小説家は、その前に753通の断り状を受け取った。

714本のホームランを打った男ベーブ・ルースは1333回、三振をした。

失敗を恐れちゃいけない。トライもしないで逃すチャンスこそ怖れた方がいい。」

ユナイテッド・テクノロジーズ・コーポレーション著『アメリカの心』

編集後記

テレビの画面には、猛暑、熱中症の文字が踊り、陽炎の向こうに市街地を映したいつものカットが連日のように流れている。観測史上最高の41℃を記録した四万十市、コンマ数度の差で並んだ観測地点の一覧が、世界陸上の競技結果のようで笑える。

気温の上昇が叫ばれて久しい昨今、統計的にはどうなのだろうとネットを検索すると多数のサイトがヒットする。“平均気温は長期的には100年あたり約1.15℃の割合で上昇”、“年最高気温は緩やかに上昇”などなど、統計データにも上昇傾向が現れているようであるが、それほど大きくは変化していないようである。

恐らくは、コンクリートやアスファルトに囲まれたヒートアイランド現象の影響が大きいものと思うが、炎天下で熱闘を繰り広げている甲子園大会を見ていると、体力の衰えを感じずにはられない。

この9月号が皆さんのお手元に届くころには、幾分暑さも緩んでいることと思いますが、まだまだ残暑厳しい折、体調には十分にお気をつけ下さい。

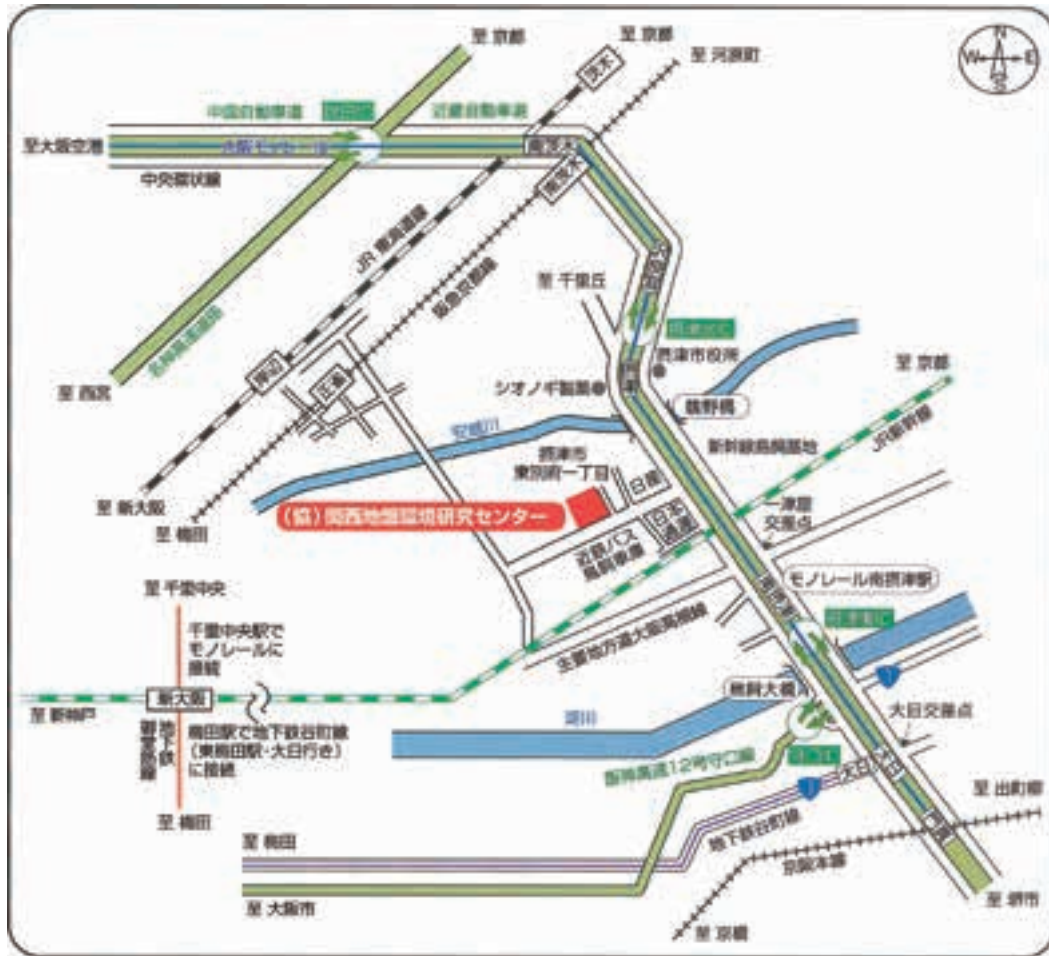
(小田 記)

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
TEL 06-6827-8833 (代)
FAX 06-6829-2256
e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編集 情報化小委員会
編集責任者 中山義久
印刷



<http://www.ks-dositu.or.jp>



JR岸辺駅より車で約10分 阪急正雀駅より車で約10分 モノレール南摂津駅より徒歩約15分



JAB
Testing
FTL02100

認定範囲
M25機械・物理試験
M25.21土質試験

ISO 9001



JTCCM
OSCA
RQ 0704

(登録範囲) <http://www.jtccm.or.jp/>



MS
JAB
CM015

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<http://www.ks-dositu.or.jp>

ISO/IEC17025認定試験所(摂津試験所)

ISO9001認証取得

計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号

環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)